

「次期三重県教育ビジョン（仮称）」策定について

第 1 回全体会において特に審議していただきたい論点

1 教育を取り巻く環境変化と諸課題について

（論点 1）次期「三重県教育ビジョン（仮称）」を策定するうえで、見逃してはならない重要な環境変化や課題は何か？

2 次期教育ビジョンの基本理念、基本方針について

（論点 2）次期教育ビジョンの基本理念、基本方針に付け加えていくべき新たな考え方やキーワードはあるか？

3 次期教育ビジョンにおいて、打ち出していくべき内容

論点 1～2 を踏まえ、

（論点 3）次期教育ビジョンにおいて、打ち出していくべき三重県の独自性や、先進的な取組としてどのようなものが考えられるか？

教育を取り巻く環境変化と 諸課題について

平成26年5月26日
三重県教育委員会事務局

三重県教育ビジョン策定以降の環境変化等

- 平成22年12月 三重県教育ビジョンの策定
- 平成23年 3月 東日本大震災の発生
- 10月 大津市中2いじめ自殺事件の発生
- 平成24年12月 大阪市立桜宮高校バスケ部体罰自殺事件の発生
- 平成25年 6月 第二期教育振興基本計画の策定(閣議決定)
- 8月 朝日町地内における女子中学生被害にかかる殺害事件の発生
- 9月 いじめ防止対策推進法の施行
- 平成26年 4月 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正案(教育委員会制度改正)の閣議決定

教育改革に関する国の動きについて

- 新学習指導要領の順次実施
(H23～幼稚園全面実施、H23～小学校全面実施、H24～中学校全面実施、H25～高等学校学年進行で実施)
- コミュニティ・スクールの普及
- 義務標準法等の一部を改正する法律（H23.4） 小学校第1学年の学級編成標準が40人から35人へ引き下げ
- 第2期教育振興基本計画の閣議決定（H25.6）
- いじめ防止対策推進法の施行（H25.9）
- 学校教育法施行規則の改正（H25.11） 土曜授業の実施が可能に
- 公立高校の授業料無償制から高等学校就学支援金制度に移行（H26.4～）
- 高等学校教育の改革に向けた制度改革
高校教育の質の保証、高大接続テスト、到達度テストの議論等
- 教育再生実行会議の開催
 - ・第1次提言：いじめ問題等への対応について
 - ・第2次提言：教育委員会制度等の在り方について
 - ・第3次提言：これからの大学教育の在り方について
 - ・第4次提言：高等学校教育と大学教育の接続・大学入学者選抜の在り方について※現在は「6・3・3」の見直しや義務教育開始年齢の引き下げ等について、議論が行われているところ
- 教育委員会制度の改革（地教行法一部改正H26.4閣議決定）

3

学力向上について

【現状】

- 全国学力・学習状況調査結果では、小中学校の全ての教科において平均正答率が全国と比較して低く、基礎的・基本的な知識・技能の定着とそれらを活用する力に課題がみられる。
- 授業の進め方や、家庭での復習など学習習慣についての課題もみられる。

全国学力・学習状況調査の結果（平均正答率の状況）（平成25年度）

小学校	国語A	国語B	算数A	算数B
三重県	60.3%	46.7%	75.8%	55.3%
全国	62.7%	49.4%	77.2%	58.4%

中学校	国語A	国語B	数学A	数学B
三重県	75.0%	65.8%	63.2%	39.3%
全国	76.4%	67.4%	63.7%	41.5%

【これまでの取組】

- 全国学力・学習状況調査結果の分析と活用
- みえの学力向上県民運動の推進
- 市町等教育委員会及び教員を対象とした学力向上推進会議を開催

【今後の取組】

- 全国学力・学習状況調査結果に基づく教育指導等の改善への指導・助言、支援を実施
- 「授業改善モデル」作成の一環として、教材等に視点をあて、授業や家庭学習等で活用できる「ワークシート」を作成
- 「みえスタディ・チェック」の実施

みえの学力向上県民運動について

【ねらい】

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、県民一人ひとりが当事者意識を持ち、教育力を高めながら、一体となって子どもたちの学力を育んでいく。

【子どもたちに育みたい力】

- 自らの夢の実現をめざし、失敗を恐れずに主体的に学び、自信と意欲、高い志を持って輝く未来を切り拓いていく力(自立する力)
- 他者とのかかわりの中で、共に支え合い、新しい社会を創造していく力(共に生きる力)

取組内容

取組の柱	取組の柱	取組の柱
授業力の向上	家庭・地域の教育力の向上	読書活動の推進
確かな学力を育む授業づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善推進・教員研修の充実 ・効果的な少人数教育の充実 キャリア教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ意欲を育む取組の総合的推進 	開かれた学校づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域との連携 ・安心して学べる学習環境づくり 子どもたちの学びと育ちを地域で支える <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実 ・「みえの学び場づくり」 	言語活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館等を活用した授業づくり 読書の環境整備・活動啓発・機会提供 <ul style="list-style-type: none"> ・学校における読書活動の充実 ・読書をととした家庭での対話増進 ・地域の読書活動の充実

5

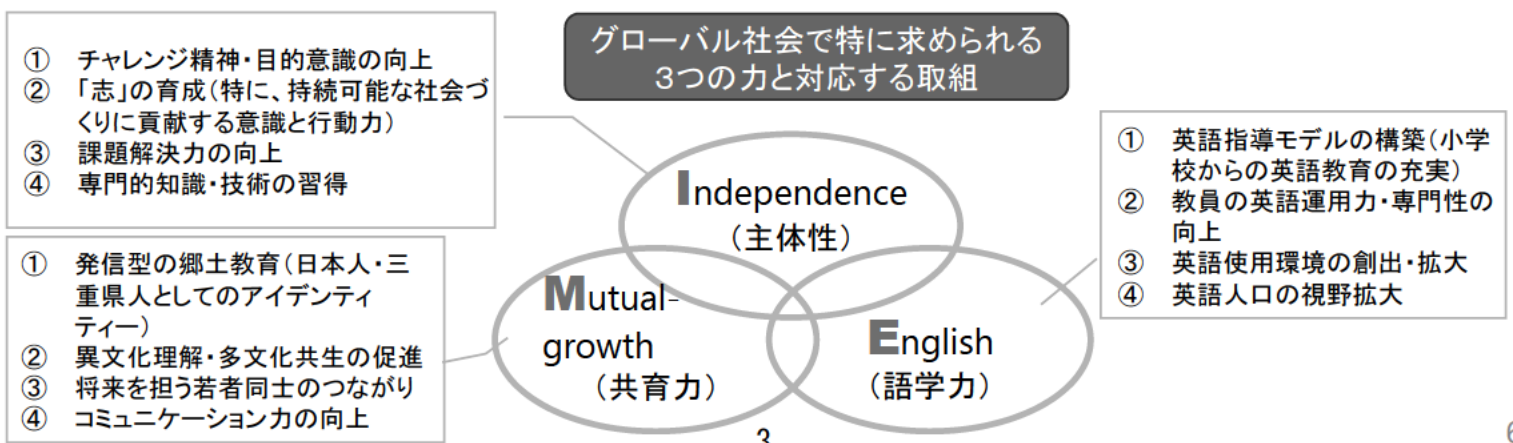
グローバル人材の育成について

【現状】

- 社会、経済等のあらゆる面においてグローバル化が急速に進展する中、国際的な舞台で活躍し積極的に発信する力が求められている。
- 国内、県内にあっても、グローバルな視野(地球的視野)に立って、自らの考えや意見を適切に伝え、日本人・三重県人としてのアイデンティティーを持ちながら、異なる文化・伝統に立脚する人々と共生できる能力や態度を身につけることが求められている。

【主な取組】

県及び県教育委員会では「グローバル三重教育プランー三重から世界へ、その先へー」を平成26年2月に策定。(計画期間:平成26~28年度)



3

6

体力向上について

【現状】

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果では、小中学校ともに多くの種目で全国平均を下回っている状況にあるものの、経年で見ると、やや上昇傾向にある。
- 小学校5年生の体力合計点は、男女とも平成25年度に過去最高値を示した。
- 中学校2年生の体力合計点は、平成24年度まで全国平均に近づく上昇が見られたが、平成25年度は、前年度を下回る結果となった。

【平成20年度と平成25年度調査の体力合計点の平均】

		小学校第5学年		中学校第2学年	
		男子	女子	男子	女子
三重県	平成20年度	52.7	53.0	40.3	47.6
	平成25年度	53.0	53.7	40.7	47.8
全国	平成20年度	54.2	54.8	41.5	48.4
	平成25年度	53.9	54.7	41.8	48.4

- 小学校では、運動をほとんどしていない子どもが多く、中学校では、よく運動する子どもと、そうでない子どもの二極化傾向が見られ、特に女子においては、4人に1人がほとんど運動しないという調査結果がでて

【主な取組】

- 子どもの体力向上推進研究協議会(県内6会場:小中高体育担当者)の開催
- 体育担当者研究協議会の開催(小学校:3会場、中・高等学校:2会場)
- 体力向上推進アドバイザーによる全小学校の訪問、体力向上に向けた取組の助言
- 体力向上サポーターの派遣
- 小学校における新体力テストの継続実施の促進
- 子どもの体力向上推進会議の開催

いじめ問題への対応について

【取組の現状】

- 平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」を受け、平成26年1月に「三重県いじめ防止基本方針」を策定
- いじめの未然防止を図り、子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを推進するため、児童生徒の実態把握に基づく学級・学校づくりに取り組むなど「いじめを許さない『絆』プロジェクト」を展開
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置するなど教育相談体制を充実

いじめ認知件数の推移

	H20	H21	H22	H23	H24.9 緊急調査	H24	H25.9 一斉調査
小学校	126	92	156	102	741	975	467
中学校	186	122	146	109	409	630	407
高等学校	48	45	34	33	110	126	63
特別支援学校	2	1	4	1	6	7	4
計	362	260	340	245	1,266	1,738	941

相談体制の充実

- スクールカウンセラー配置校数
 - ・小学校 320校
 - ・中学校 158校
 - ・高等学校 36校
- スクールソーシャルワーカー
県教育委員会に、7名配置

コンプライアンス向上、体罰の防止について

【現状】

- 体罰等の未然防止・再発防止を図るため、教職員を対象とした研修会の実施や県教育委員会作成の指導資料の校内研修等での活用、県立学校及び市町教育委員会を訪問しての助言・指導等による児童生徒理解に基づく指導の推進を図り、体罰禁止の徹底を図っている。
- 実態の把握にあたっては、各学校において、児童生徒からの訴えを把握するためのアンケート等の調査を実施し、あわせて面談等により、より正確な実態把握に努めている。
- 教職員のコンプライアンス意識の確立と体罰防止、児童生徒理解に基づく指導の徹底を図るため、運動部活動指導者研修会を開催するとともに、コンプライアンスに関する研修を実施している。
- 新任校長・教頭研修をはじめとした研修の際には、具体的事例を示して服務規律の確保を徹底している。

【平成25年度 体罰にかかる報告】

	発生学校数	対象教員数	被害児童生徒数
小学校	13校	14人	15人
中学校	11校	11人	13人
高等学校	6校	6人	6人
特別支援学校	1校	1人	1人
計	31校	32人	35人

9

学校防災について

【現状】

- 防災対策・防災教育の指針を策定(平成23年度)
東日本大震災の発生を受け、学校における防災対策・防災教育の根本的な見直しを行い、「三重県の学校における今後の防災対策・防災教育の在り方について〈指針〉」を策定
- 学校防災のリーダー養成(平成24～25年度)
防災に関する専門的な知識、スキルを持つ学校防災のリーダーとなる教職員を2年間で各校1名養成(約650名)
- 「防災ノート」の作成、配付(平成23年度～)
児童生徒が、地震や津波等の災害に備え、学校での指導や家庭での話し合いをとおして、学校や通学時における避難方法や家庭での防災対策について確認し、自ら命を守ることができるようになることを目的とした「防災ノート」を作成し、私立学校を含む県内全ての学校に配付

学校施設の耐震化等状況(平成25年4月1日現在)

	校舎・屋内体育館 耐震化率	非構造部材 耐震対策実施率
高等学校	99.3%	1.7%
特別支援学校	100.0%	12.5%
小中学校	97.5%	48.1%
幼稚園	99.4%	45.9%

防災ノート



10

今後の主な予定等

平成27年	新・教育委員会制度開始 全国高等学校産業教育フェアを三重県で開催
平成28年	次期「三重県教育ビジョン（仮称）」のスタート 国際地学オリンピック大会を三重県で開催
平成29年	三重県こども心身発達医療センター（仮称）開設
平成30年	全国高等学校総合体育大会を三重県を中心とする東海ブロック で開催
平成32年	東京オリンピック・パラリンピックの開催
平成33年	国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の三重県開催
平成36年	熊野古道遺産登録20周年